



R8.7.27 令和8年度第3回小高区義務教育学校設立検討準備協議会資料
(南相馬市教育委員会事務局教育総務課)

【オンライン意見箱における意見と今後の方向性について】

1. オンライン意見箱の概要

■ 南相馬市学校適正化に関する意見箱（常設）

- ・ 集約期間：令和8年6月24日（水）～7月21日（火）
- ・ 投稿者（小高区案件）：2名

■ 令和8年第1回協議会に関するオンライン意見箱

- ・ 集約期間：令和8年7月1日（水）～7月13日（月）
- ・ 投稿者：0名

■ 令和8年第2回協議会に関するオンライン意見箱

- ・ 集約期間：令和8年7月10日（金）～7月21日（火）
- ・ 投稿者：1名（非公開希望の意見のため未掲載）



2. 南相馬市学校適正化に関する意見箱（常設）の意見と市教委の考え方

No	子どもの区分	カテゴリ	保護者からの意見	市教委としての考え・今後の進め方
1	小学生	再編統合	私は小高中学校の教諭です。 小高に残る唯一の小学校と中学校を残していくことは、地域の誇りとして重要な役割を果たしていくと思います。小高の卒業生として、住民として、そして我が子が誇り高き小高小学校と小高中学校を卒業していく姿を見ていきたいです。小中それぞれの良さが確立され、子どもたちも自分たちの頑張りと輝きを地域に発信している今、施設を1つにし、義務教育学校として改める必要性を全く感じません。施設分離型であるからこそ、子どもたちは精神的に成長し中学校で自ら考え行動していくことの大切さを学んでいるのだと確信しております。 小高小学校、小高中学校を残し、施設分離型で子どもたちの成長の場となることを切に願います。	ご意見ありがとうございます。ご意見にもあるとおり、現在の小高小学校と小高中学校が、それぞれに素晴らしい教育活動を展開され、子ども達が生き生きと輝いていることは、私も教育委員会としても同じ思いです。また、小学校から中学校へと進学する中で、子どもたちが精神的に大きく成長するという、施設分離型ならではの良さがあることも認識しております。 その上で、今回、施設一体型義務教育学校の開設を検討しているのは、例えば、9年間を見通した切れ目のない学びを提供することや、日常的な異学年交流を通して、社会性や思いやりの心を一層育むことなど、新たな可能性が期待できるからです。 今回いただきましたご意見は、小高区義務教育学校適正化検討協議会とも共有し、今後の協議に生かしてまいります。 これからも、保護者や地域の皆様との対話を重ね、子どもたちにとってより良い教育環境とは何かを慎重に検討してまいります。



2. 南相馬市学校適正化に関する意見箱（常設）の意見と市教委の考え方

No	子どもの区分	カテゴリ	保護者からの意見	市教委としての考え・今後の進め方
2	小学生	教育環境	義務教育学校、どんどん新しいことにチャレンジしてください！	教育委員会が提案する方向性にご賛同のお声を届けていただき、ありがとうございます。 これからも、保護者や地域の皆様との対話を重ね、子どもたちにとってより良い教育環境をの充実に向け、検討を進めてまいります。